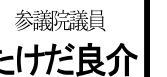




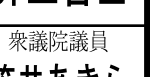
市議会議員
砂田喜昭
Tel 67-4322



衆議院議員
藤野保史



参議院議員
たけだ良介



参議院議員
井上哲士

衆議院議員
笠井あきら

禁無断転載
複写配布

市議会決算審査

砂田委員が改善点を指摘

市議会決算特別委員会が10月8日、9日、12日の3日間開かれ、2019年度各会計決算審査が行われました。砂田委員は次の改善点を指摘しました。

幼児教育無償化で
市の財源2700万円助かる

子ども・子育て支援臨時交付金が19年度決算で6969万4千円交付されました。これは国が消費税10%への引き上げと引き換えに幼児教育無料化をしたことによるもので、保育料無償化の費用を全額国が交付金で負担しました。19年度は10月から対象の半年分で、20年度からは1年分を国が地方交付税で負担します。

砂田委員は「20年度からいくらになるか」と質問。財政課長は「1・4億円と試算し、保育料無料にする財源に充てる。小矢部市は保育料を国基準よりも低く（国基準の約60%）抑えるために、市の一般財源をつぎ込んでいます。国は、国基準の保育料分を全額負担するため、市がつぎ込んでいる一般財源も助かることになる。それは2700万円と試算している」と答えました。

市民と野党の共同で新しい政治を

日本共産党街頭演説会

いつ解散総選挙が行われるかという緊迫した情勢のもと、日本共産党街頭演説会が10月7日、富山市で開催され、小矢部市内からも参加しました。藤野やすふみ衆院議員、井上さとし参院国対委員長、坂本ひろし衆院富山3区予定候補らが訴えました（写真）。

コロナ禍のもとで、人と人が支え合い、いのちを大切にす社会や政治が求められています。菅政権が、日本学術会議の人事に介入し、学問の自由を踏みにじる違憲、違法な暴挙にでました。これを正すためにも、今度の総選挙で政権交代させ、筋を通す日本共産党も加わった「野党連合政権」を実現しようと呼びかけました。



富山県政でも、いのちを大切に県民の苦勞に応える新しい県政か、それとも中央政府の方ばかり向いている現県政や利益追求を本質とする民間企業のやり方を取り込む県政か、が問われています。国政でも地方政治でも市民と野党の共同で新しい政治をつくろうと呼びかけました。

これら子育て支援に有効活用を 国保税こどもの均等割廃止や インフルエンザ予防接種助成の拡充に

砂田委員は「これら子育て支援に有効活用すべきで、国保税のこどもの均等割を市独自で廃止するには700万円のできるし、次年度以降のインフルエンザ予防接種助成の削減を取りやめることにも使える」と強調しました。

歯科矯正に保険適用を

小矢部市は毎年、学校歯科検診でむし歯や歯並びを調べ、その結果に基づいて保護者に経過観察や治療を勧められています。ところが歯並びの矯正には保険適用がされません。あるお孫さんの例では70万円かかったそうです。1回目の治療が40万円、その後1回の治療が5000円で3年間続けねばならないそうです。全国で8万1千人の保険適用を求める署名を持つお母さんが今年1月15日、厚生省に申し入れたら、厚生労働副大臣が「検討し改善する」と約束したそうです。

歯並びの検診結果、軽度で要観察が214人、重度で歯科医に見てもらうよう勧められた子は29名でした。（表）

区分	全体	軽度 要観察		重度 要精検		
		人数	割合	人数	割合	
小学校	男子	615	74	12.0%	20	3.3%
	女子	599	89	14.9%	5	0.8%
中学校	男子	347	27	7.8%	3	0.9%
	女子	346	24	6.9%	1	0.3%
合計	1907	214	11.2%	29	1.5%	

夜間中学を是非とも

日本で働く外国人の子どものうち日本の小中学校で学んでいるが、日本語がわからなくて授業についていけない場合があります。

現在、市内には3人の外国人子弟が学んでいます。そのうちの一人は日本語がOKですが、他の二人は困難しています。日本語指導や相談活動にのる専門員が年間45回、週1回のペースで学校へ支援に来ています。不登校の子も居て、スクールソーシャルワーカーが対応しています。今年度で中学卒業となり、来年度は外国人子弟の在学はない見込みです。

砂田委員は「これらの外国人家族は引き続き小矢部市で働き続けることだが、中学の勉強が十分身に付いていないことが懸念される。国は、少なくとも各県に1つの夜間中学を設置するよう求めている。県に対して夜間中学の設置を求めているどうか」と述べました。教育委員会事務局次長は「前向きに検討したい」と答えました。

